



県内経済情勢 (令和3年4月判断)

令和3年4月28日

財務省関東財務局
千葉財務事務所

照会先

千葉財務事務所 財務課 (TEL:043-251-7213)

ホームページ <http://kantou.mof.go.jp/chiba/>

1. 総論

【総括判断】「県内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある」

項目	前回（3年1月判断）	今回（3年4月判断）	前回比較
総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある	→

（注）3年4月判断は、前回1月判断以降、4月に入ってからの足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響により一部に弱さがみられるものの、緩やかな持ち直しの動きが続いている。生産活動は、持ち直している。雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている。

【各項目の判断】

項目	前回（3年1月判断）	今回（3年4月判断）	前回比較
個人消費	新型コロナウイルス感染症の影響により、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	新型コロナウイルス感染症の影響により一部に弱さがみられるものの、緩やかな持ち直しの動きが続いている	→
生産活動	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直している	持ち直している	→
雇用情勢	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている	→
設備投資	2年度は増加見込みとなっている	2年度は減少見込みとなっている	↘
企業収益	2年度は減益見込みとなっている	2年度は減益見込みとなっている	→
企業の景況感	「下降」超で推移している	「下降」超で推移している	→
住宅建設	前年を下回っている	前年を下回っている	→
公共事業	前年を下回っている	前年を上回っている	↗

【先行き】

先行きについては、感染拡大の防止策を講じるなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直していくことが期待される。ただし、感染拡大等が県内経済に与える影響に十分注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「新型コロナウイルス感染症の影響により一部に弱さがみられるものの、緩やかな持ち直しの動きが続いている」

百貨店及びドラッグストア販売額などは前年を下回っているものの、スーパー及びホームセンター販売額などは前年を上回っている。乗用車の新車登録届出数は前年を上回っている。娯楽業・宿泊業等は弱含んでいる。このように、個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響により一部に弱さがみられるものの、緩やかな持ち直しの動きが続いている。

(主なヒアリング結果)

- 前年は新型コロナの感染が急拡大したことによるマスクや消毒液などの特需があり、今年はその反動により前年を下回っているものの、うがい薬や消毒液などのほか、自宅での飲酒需要から缶ビール類の売上も引き続き堅調となっている。(ドラッグストア、中堅企業)
- 新型コロナの影響も一巡したものの、緊急事態宣言の再発出によって感染防止グッズやトイレットペーパーなどの日用品の需要が増加したほか、1月は気温が低くストーブ等の暖房用品、3月は気温が高くDIY用品などが好調となっている。(ホームセンター、大企業)
- 緊急事態宣言再発出の影響により、客室稼働率は前年を大幅に下回っている。3月21日に緊急事態宣言が解除されたことで宿泊客は戻りつつあるものの、足下での感染再拡大(第4波)により、4月は当初見通しよりも厳しくなる見込み。(宿泊業、中堅企業)

■ 生産活動 「持ち直している」

生産を業種別にみると、化学、石油・石炭製品などが減少しているものの、食料品、金属製品などが増加しており、持ち直している。

(主なヒアリング結果)

- 操業不調により一時的に生産量が減少した月もあるものの、前年の新型コロナの影響による減産から回復基調となっており、4月からはフル稼働の見込みとなっている。(化学、大企業)
- 前年の暖冬に対し、今年は寒くなったことで灯油需要は回復したものの、緊急事態宣言再発出による移動制限の強化によって航空燃料を筆頭に需要は再び減少している。(石油・石炭製品、大企業)
- 自動車業界の生産が新型コロナの影響から回復し始めたことを受け、特に3月から受注量は大幅に増加している。なお、世界的な半導体不足となっているものの、現時点では当社の受注量に影響は生じていない。(金属製品、大企業)
- コロナ前の生産量の水準には戻っていないものの、新型コロナに伴う影響は軽減されており、足下での感染拡大に伴う生産量への影響は現時点では生じていない。(鉄鋼、大企業)

■ 雇用情勢 「新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている」

有効求人倍率は横ばいである。新規求人数は減少している。雇用保険受給者実人員は増加している。

(主なヒアリング結果)

- 入場者数制限に加え、デジタル化に伴う人員配置の見直しが進んだこともあり、人手不足感はなくなっている。(娯楽業、大企業)

■ 設備投資 「2年度は減少見込みとなっている」

- 法人企業景気予測調査(3年1~3月期調査)による2年度の設備投資計画額をみると、製造業では前年比増減率▲32.6%の減少見込み、非製造業では同▲23.8%の減少見込みとなっており、全規模・全産業では同▲24.5%の減少見込みとなっている。

■ 企業収益 「2年度は減益見込みとなっている」

- 法人企業景気予測調査(3年1~3月期調査)による2年度の経常利益(除く「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」)をみると、製造業では前年比増減率▲34.4%の減益見込み、非製造業では同▲85.0%の減益見込みとなっており、全規模・全産業では同▲78.6%の減益見込みとなっている。

■ 企業の景況感 「『下降』超で推移している」

- 法人企業景気予測調査(3年1~3月期調査)による景況判断BSIをみると、全規模・全産業で「下降」超で推移している。3年4~6月期の先行きについては、全規模・全産業で「下降」超で推移する見通しとなっている。

■ 住宅建設 「前年を下回っている」

- 新設住宅着工戸数をみると、持家は前年を上回っているものの、貸家、分譲住宅は前年を下回っており、全体として前年を下回っている。

■ 公共事業 「前年を上回っている」

- 公共工事請負金額をみると、前年を上回っている。

県内経済情勢 (令和3年4月判断)

(資料)

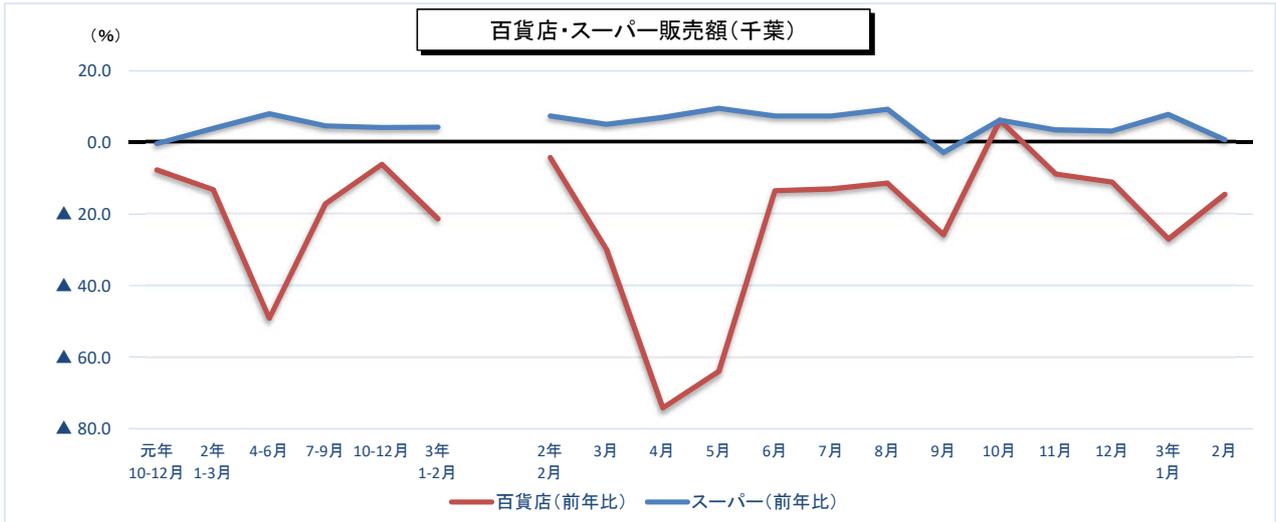
目次	(頁)
1 . 個人消費	1
2 . 生産活動	2
3 . 雇用情勢	3
4 . 設備投資	4
5 . 企業収益	4
6 . 企業の景況感	4
7 . 住宅建設	5
8 . 公共事業	5

令和3年4月28日

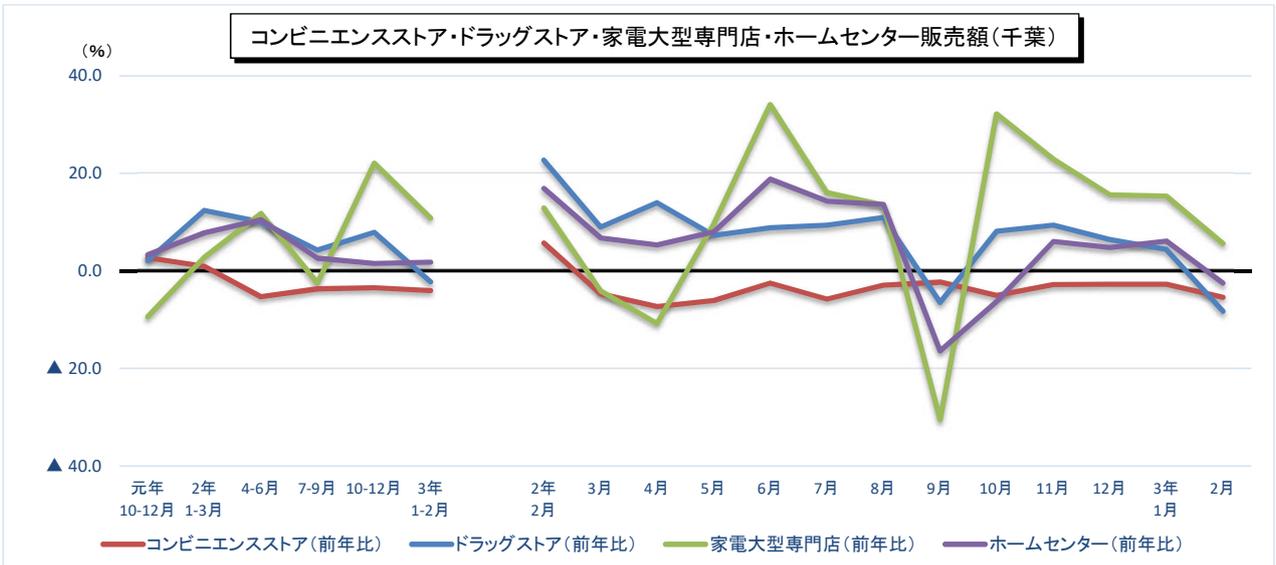
財務省関東財務局
千葉財務事務所

1. 個人消費

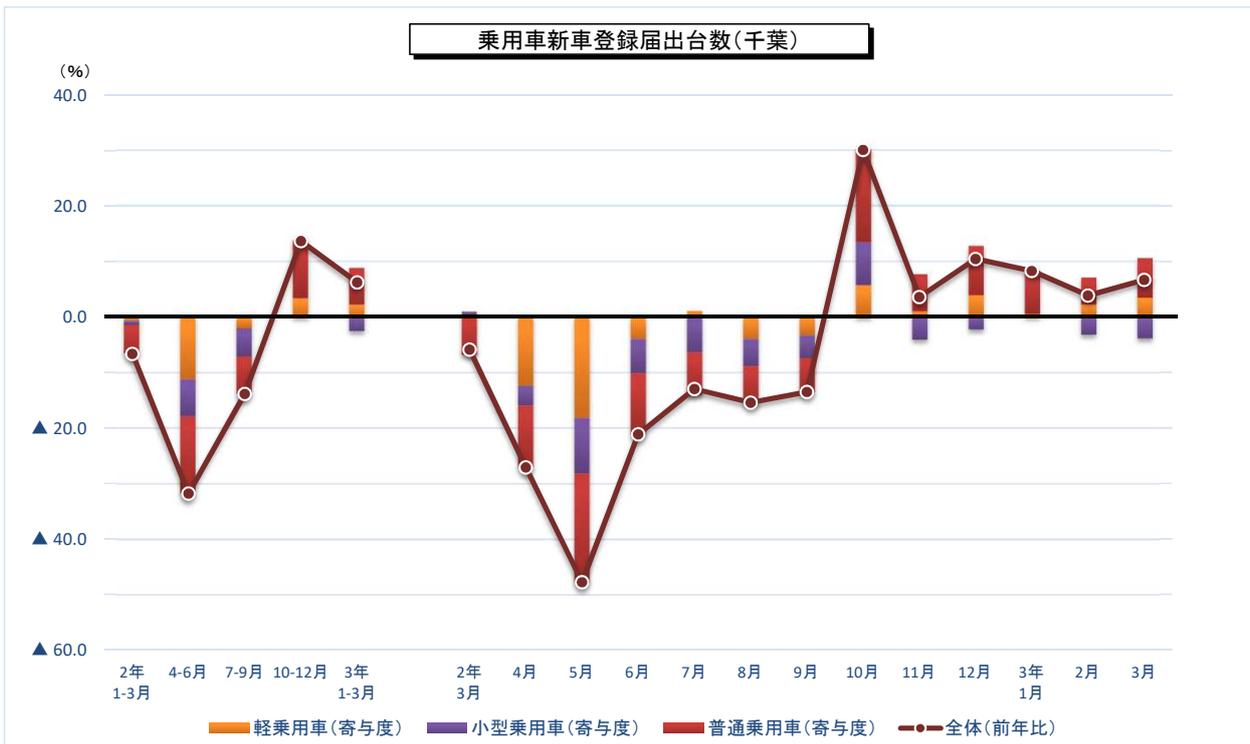
新型コロナウイルス感染症の影響により一部に弱さがみられるものの、緩やかな持ち直しの動きが続いている



[経済産業省]



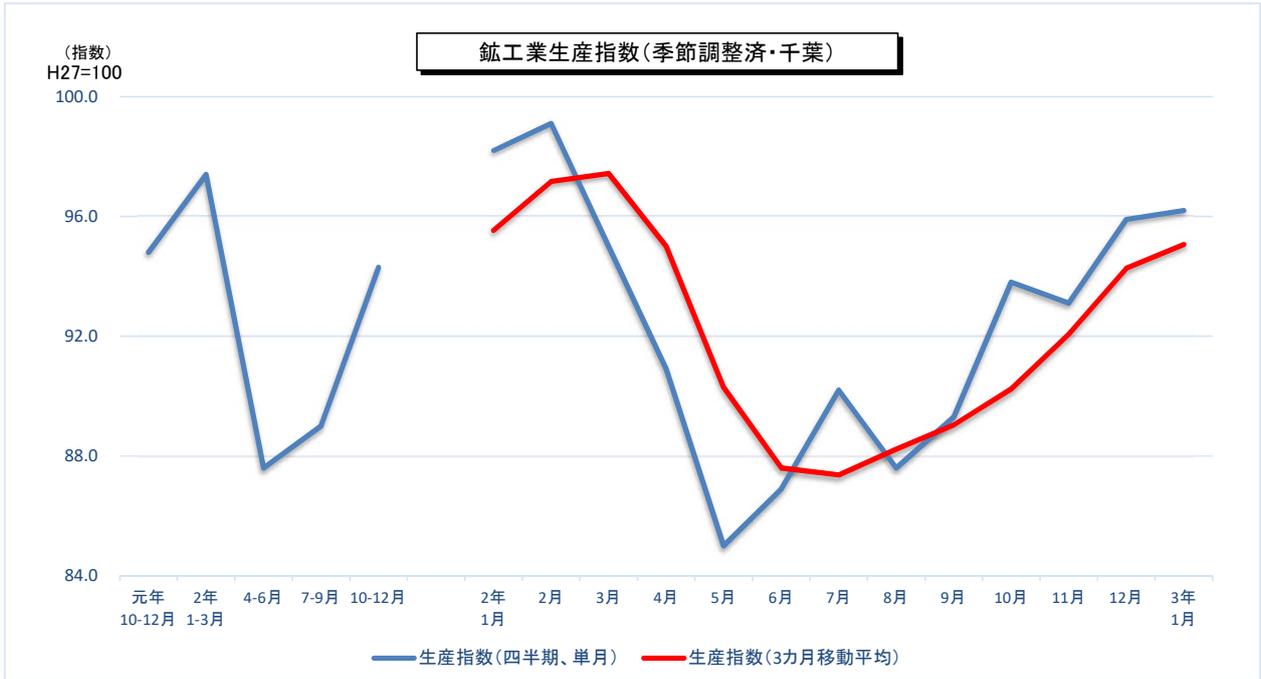
[経済産業省]



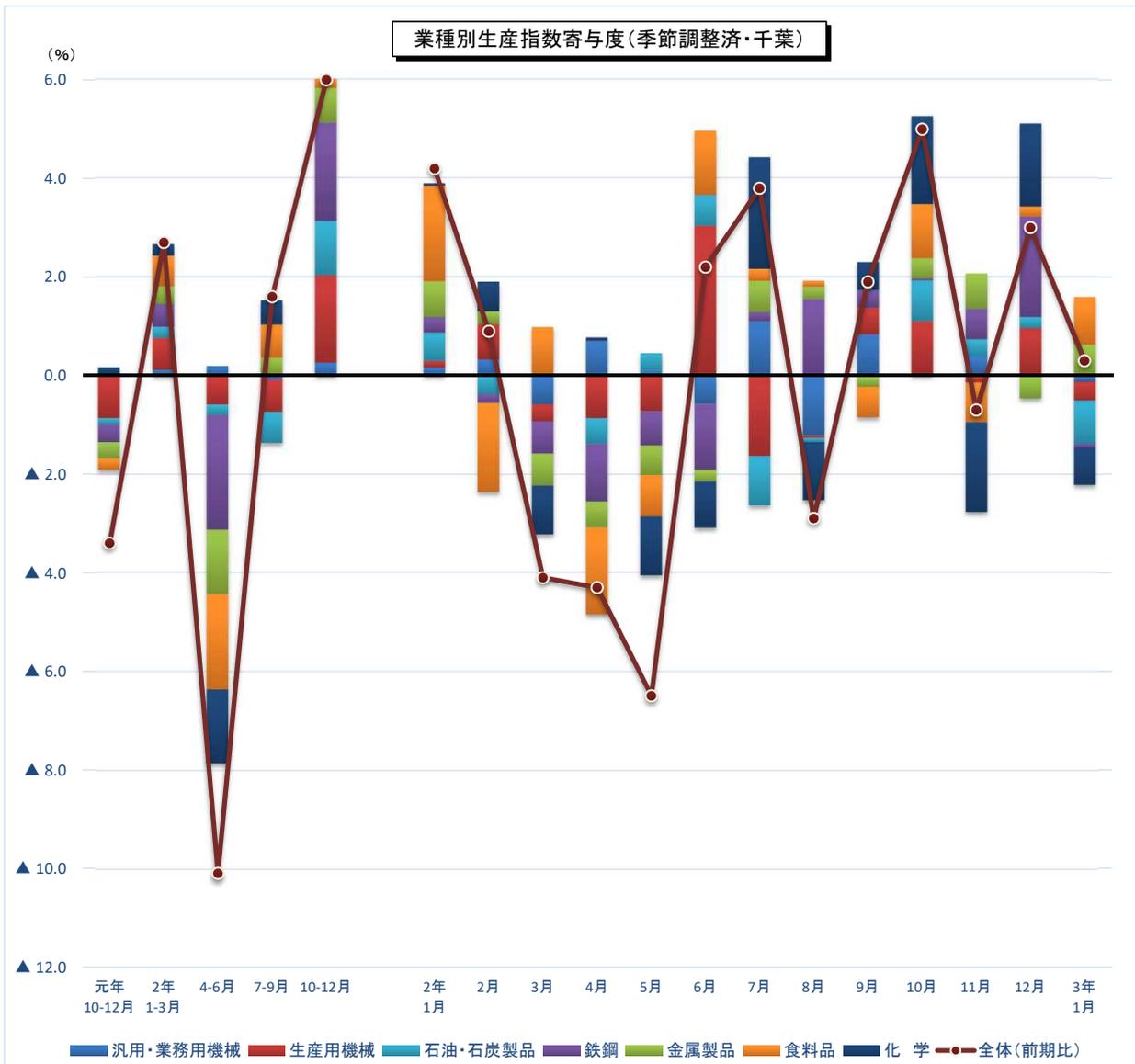
[日本自動車販売協会連合会・全国軽自動車協会連合会]

2. 生産活動

持ち直している



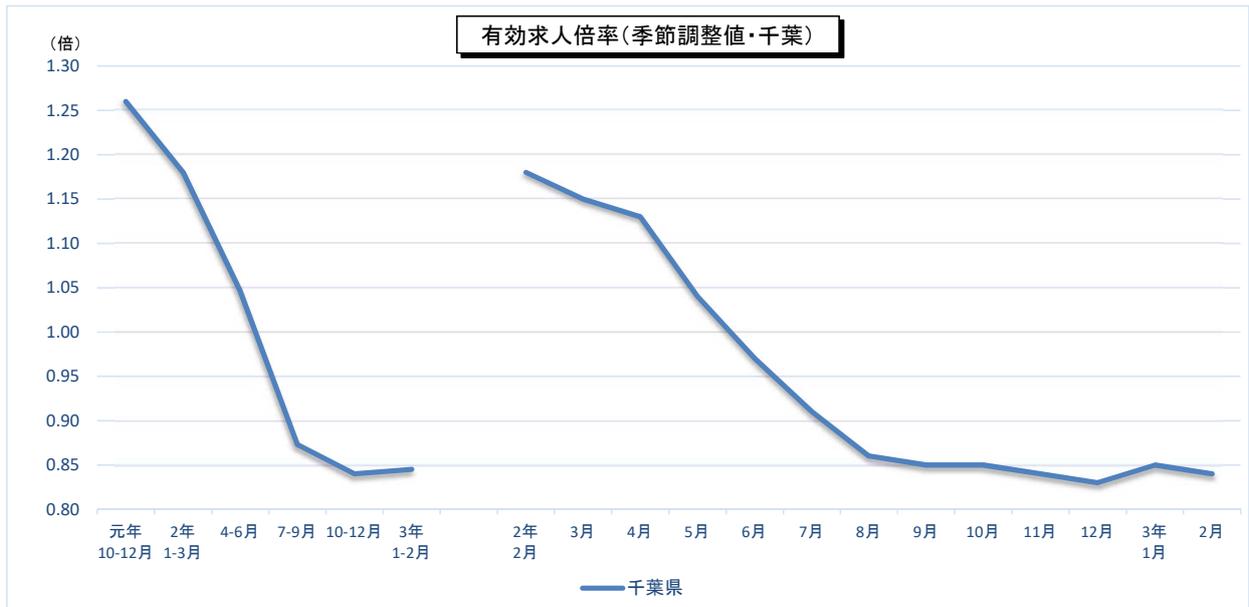
[千葉県]



[千葉県]

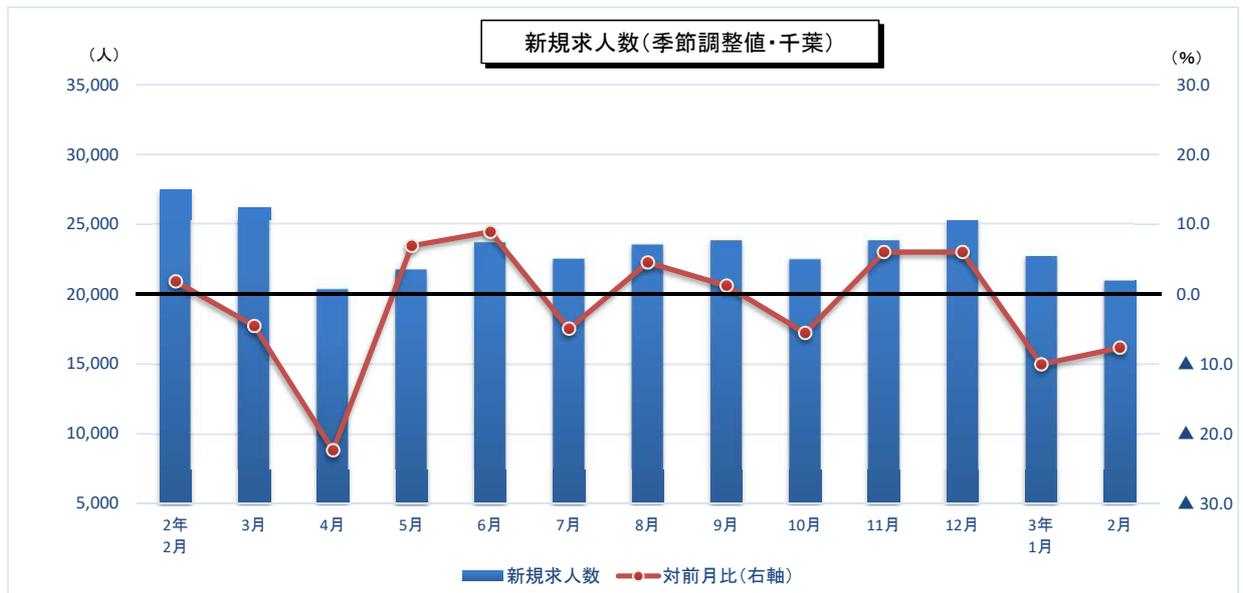
3. 雇用情勢

新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている

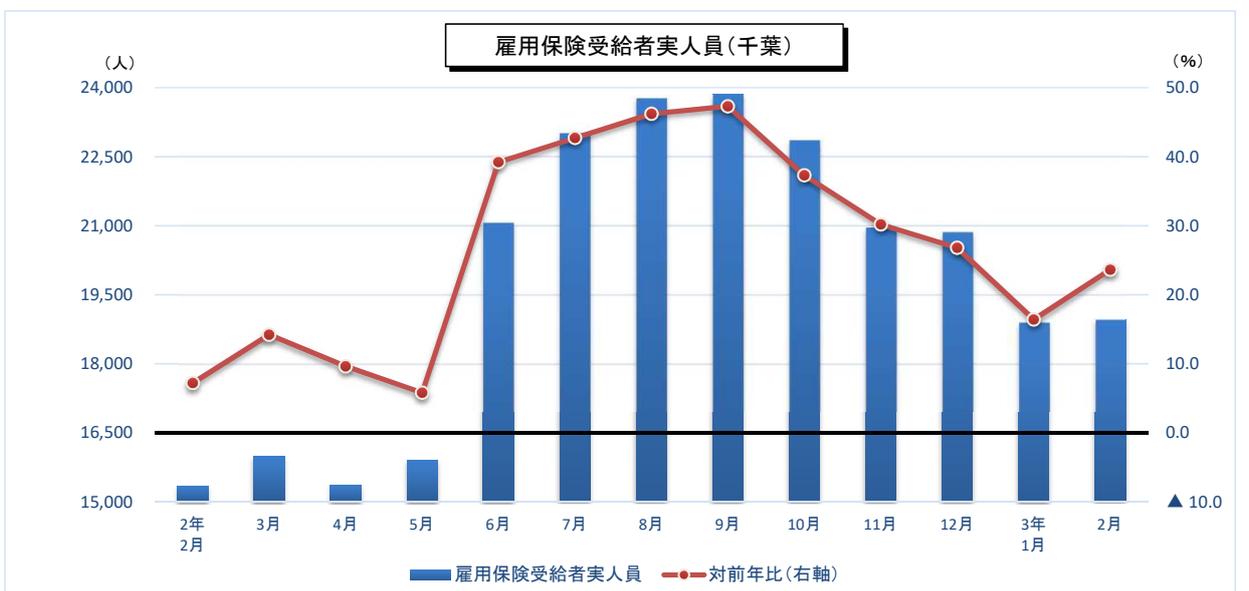


(注)四半期は期中平均である。

[千葉労働局]



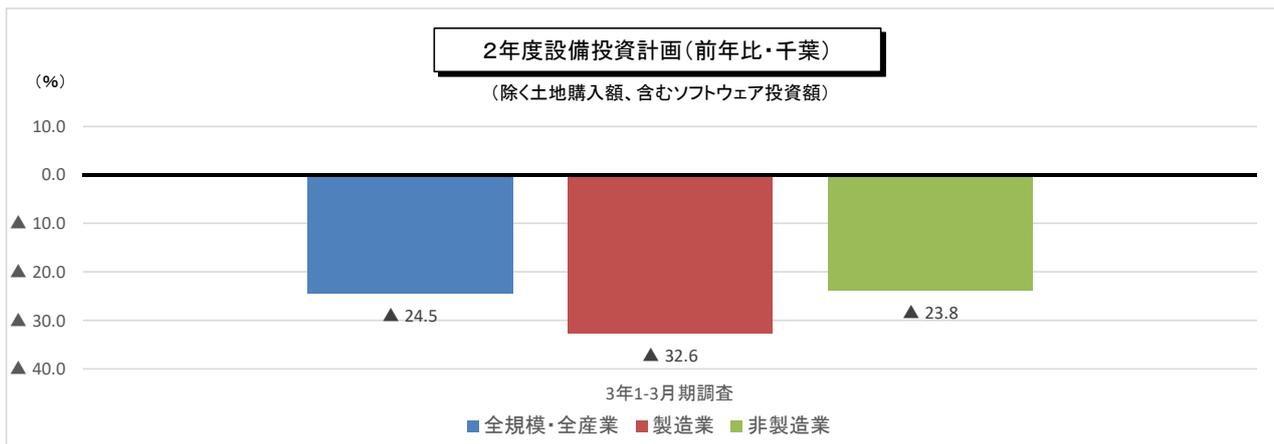
[千葉労働局]



[千葉労働局]

4. 設備投資

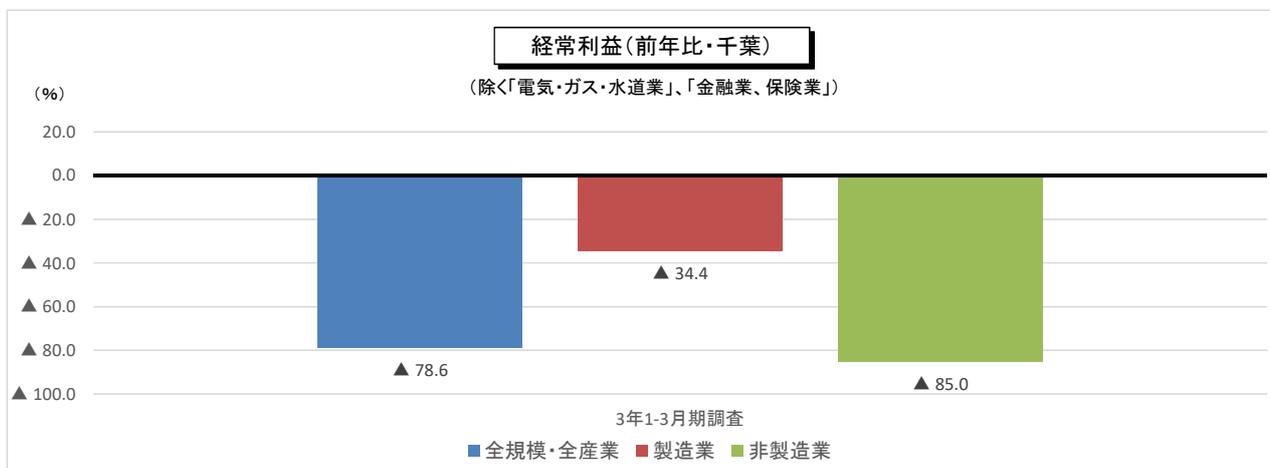
2年度は減少見込みとなっている



[千葉財務事務所(法人企業景気予測調査)]

5. 企業収益

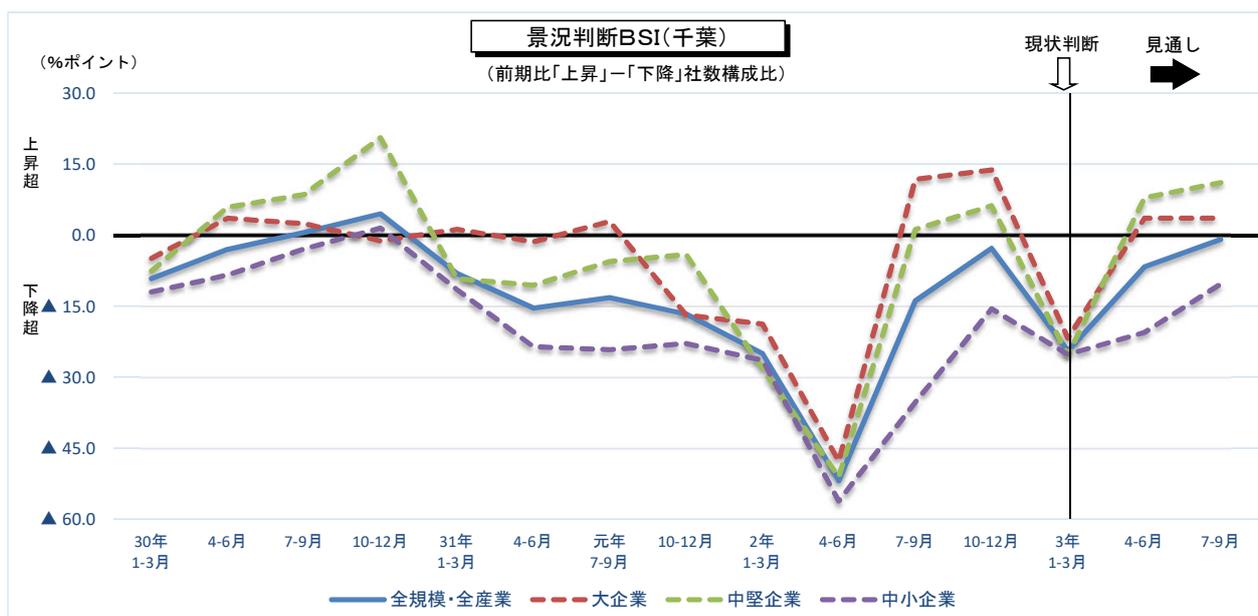
2年度は減益見込みとなっている



[千葉財務事務所(法人企業景気予測調査)]

6. 企業の景況感

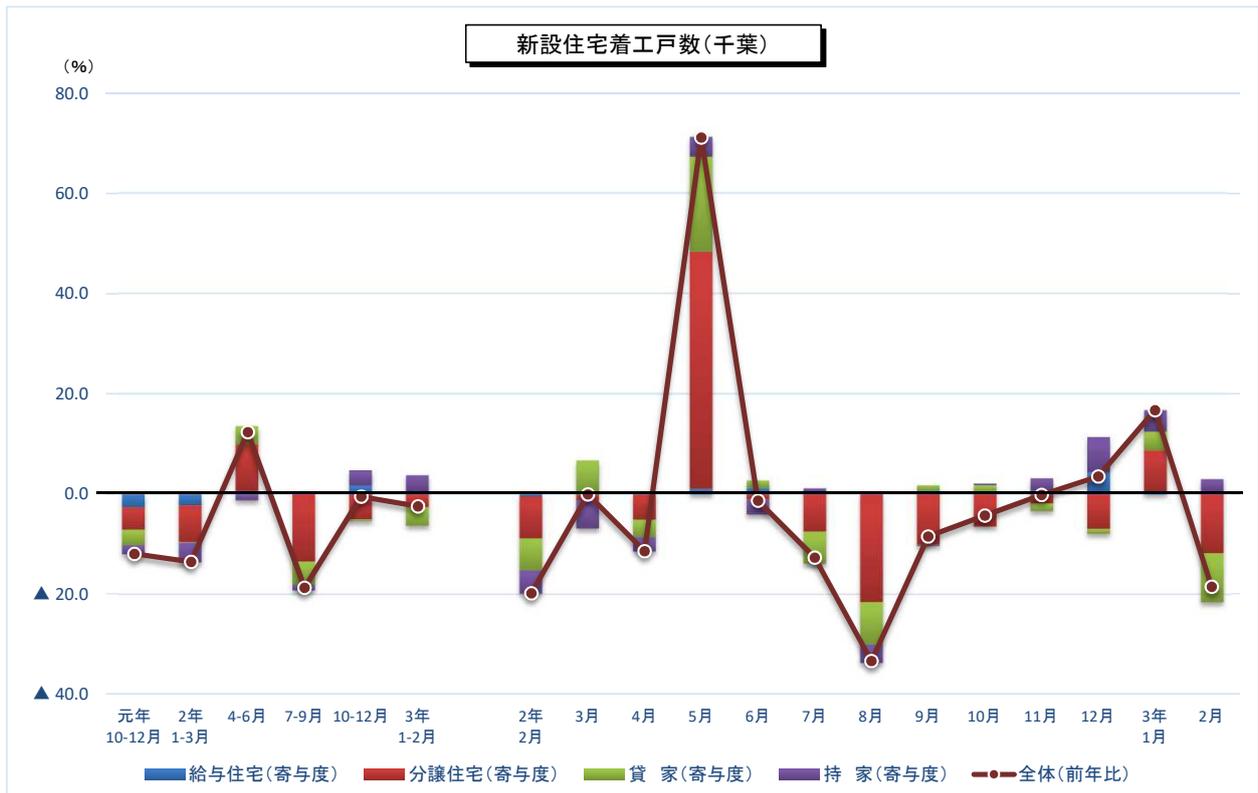
「下降」超で推移している



[千葉財務事務所(法人企業景気予測調査)]

7. 住宅建設

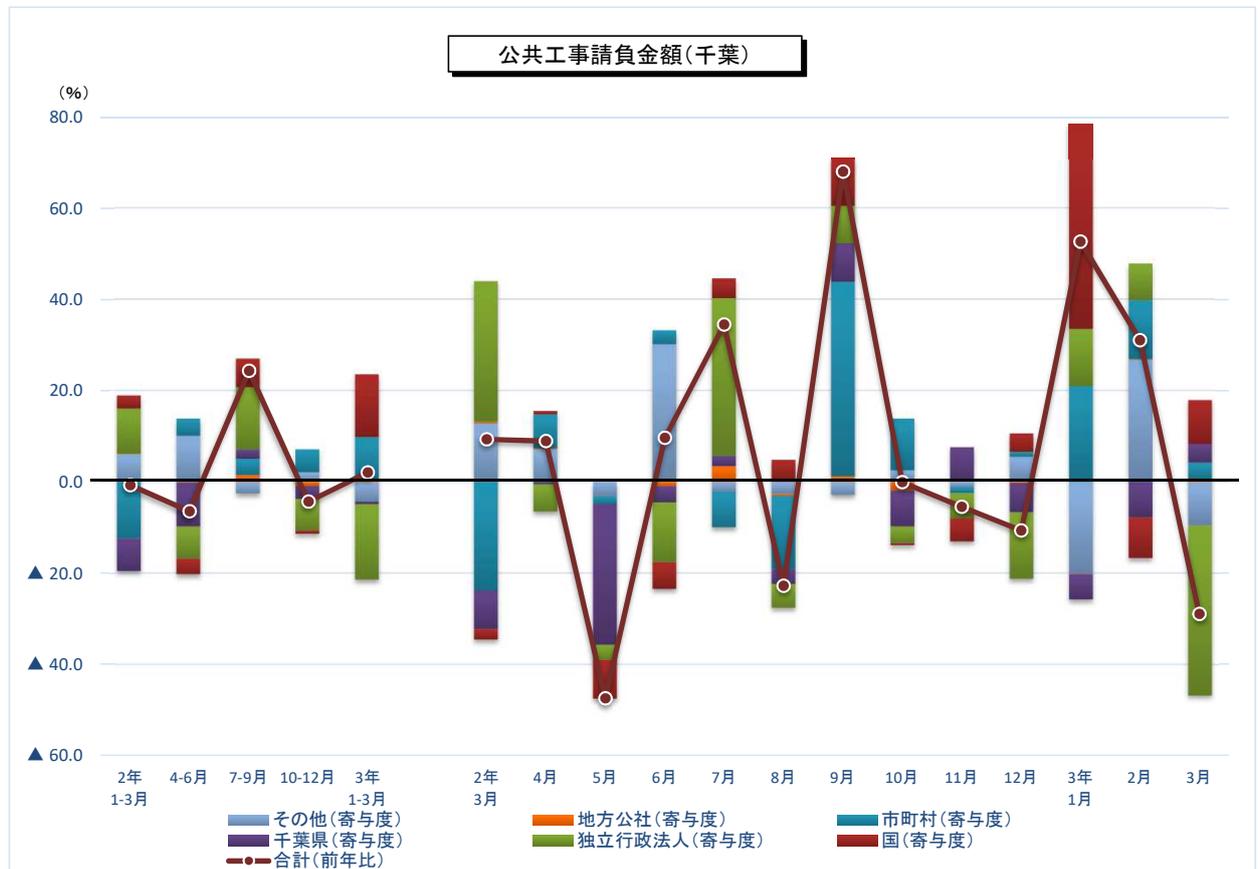
前年を下回っている



[国土交通省]

8. 公共事業

前年を上回っている



[東日本建設業保証株式会社]